

働きながら
フルオンラインで
学ぶ

次代の教育を拓く

変革者が必要だ。

教育DX × 経営

EMBA TECH

教育テック大学院大学

(文部科学大臣認可)

2026年度4月入学

社会人大学院生

募集

教育DXと経営に特化したフルオンライン大学院

〈教育のMBA〉
教育経営学修士

〈教育のIT修士〉
教育情報学修士

助成制度

厚生労働省・人材開発支援助成金「人への投資促進コース」の活用で、
学費の7.5割～最大約9割が助成されます。

2年間の学費 (修了要件30単位取得の場合)	助成金活用の場合
入学金 …………… 30万円 1年次 …………… 140万円 2年次 …………… 95万円	助成金 約231万円 最大約 9割 助成
合計 265万円	企業負担34万円(約1割)

人材開発支援助成金とは

従業員の職務に関連した専門的な知識と技能の習得を目的として計画に沿って訓練を実施した場合に、訓練中の賃金と経費の一部を企業(事業主)に対して助成する制度です。訓練によっては、最大約9割の経費助成が受けられます。

※助成金の詳細については、厚生労働省ホームページを必ずご確認ください。
人材開発支援助成金
「人への投資促進コース・成長分野等人材訓練」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html
※助成金の活用について、本学事務局でご相談を受けることが可能です。お気軽にお問い合わせください。

企業だけではなく、学校法人や国立大学法人、社会福祉法人なども助成対象です。

学費減免制度

本学独自の学費減免制度を設けています。

半額免除者・・・一定程度 全額免除者・・・若干名

※詳細は募集要項・説明会で説明します。

推薦入試制度

推薦入学入試では筆記試験を免除

受験者の所属する組織の長などの推薦状を提出いただきますと、筆記試験が免除となります。(審査あり)
推薦状は、非推薦者の知識・技能・研究能力に関する記述を求め、書類審査と面接試験とあわせて総合的に評価します。

◎推薦状は本学所定様式をホームページよりダウンロードのうえ、記入してください。

◎受験者の所属する組織の上長や派遣責任者が記入してください。

◎受験者の所属する組織内における派遣制度の利用、または内部選考による合格者を推薦する場合はその旨を記載してください。

※選考時に、推薦理由について推薦者に対して問い合わせを行う場合があります。

※推薦入試の出願資格に該当しないと本学が判定した場合、一般入試として扱う場合があります。

EMBA TECH

教育テック大学院大学

(文部科学大臣認可)

入間キャンパス

〒358-0033 埼玉県入間市狭山台一丁目3番7 Tel:050-3645-7911

学校法人OCC 教育テック大学院大学 事務局

URL: <https://www.e-mbatech.ac.jp/> Tel:050-3645-7911

Email: office@e-mbatech.ac.jp

法人本部

〒545-0042 大阪府大阪市阿倍野区丸山通1丁目3-61 Tel:06-6652-2091

銀座オフィス

〒104-0045 東京都中央区築地2丁目1-4 銀座PREX East 5F Tel:050-3645-7911



Instagram



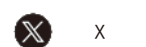
https://www.instagram.com/e_mbatech_official



Facebook



<https://www.facebook.com/embatech.official>



X



https://x.com/e_mbatech_info



note



https://note.com/embatech_info/

説明会・セミナーの情報は
こちらのQRコードからcheck!



「教育DX」と「経営」に特化した、世界初の社会人対象 教育の未来を創り、

教育・経営・情報 (ICT・AI) の知識・スキルを身につけて教育の未来を構想し、
教育現場と教育機関の経営を変革する人材を養成。

これから予測される
教育の未来。

「学校」の垣根が無くなる？

受験戦争は過去のものに。

知識インプットは映像配信に。

メタバースで留学、国際交流可能に。

AI活用が当たり前に。

ペーパーテストが不要に。

etc.

産業界ではDXが進み、次々と新たな価値が生み出されています。

しかし学校など教育機関では、旧来の教育手法をデジタルに置き換える程度で、

社会構造や求められる人材の変化といった、新たな時代が求める変革は起きていません。

教育と経営の危機・課題に応えながら、教育に新たな変革をもたらすために。

教育テック大学院大学は、教育からより良い世界を創るための人材を養成します。

日本・世界の教育界が抱える4つの課題…
教育テック大学院大学は、こう応えます。

1

少子化で危機に直面する
学校経営…

実践的な経営学を身につけた
経営者を育てる。

2

教育現場でのICT・AI活用が
まだまだ不十分…

教育に特化したICT教育で、
教育DXの実現者を。

3

民間で培った知識・能力を
教育現場で活かさない…

教育・経営・ICT・AIを
バランスよく学べる環境を。

4

特にアジア全域では
学校・教育機関が不足…

グローバルな教育の
ニーズに応える教育体制を。

フルオンライン大学院。

世界を変えよう。



学生像 あらゆる分野の教育関係者が対象です。大卒ではない場合でも、出願できます。

※2年以上の実務経験者(社会人)

- 幼稚園教諭・保育士
- 小中高大の教職員
- 塾・研修機関の教職員
- 生涯教育に携わる方
- 教育委員会や行政の職員
- 組織の人材育成担当者
- 外国籍で日本の教育や経営を学びたい方
- 民間企業等で教育界を目指す方 …etc

目指す姿

- 学校・教育機関のマネジメント職
- 教育・学校CIO、AI活用・DX推進リーダー
- 新たな教育プログラムを開発する
- 新たな教育ソリューションを開発する
- 組織の人材育成を設計する
- セカンドキャリアの基盤をつくる
- 民間企業等から大学教員になる …etc

教育界からの期待の声

教員養成のキーワードの一つは、
「理論と実践の往還」

教育テック大学院大学の『経営×教育DX』に大きな期待。理論と実践を往還させる学びのエコシステムを構築し、教育DXの先導役となる大学院を望みます。挑戦を恐れず、ワクワク感あふれる場になることを心から期待しています。

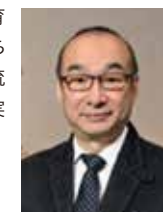
戸ヶ崎 勤 様
戸田市教育委員会教育長



企業で働いた経験のある人たちが、
教育分野に転身するという動きも重要

教育には多くの人が関与すべきで、企業人材や教育機関との連携、大学院での支援は大きな価値を持ちます。企業経験者の転身も重要で、こうした人材交流が進めば、教育と実社会の隔たりが縮まり、学生に実践的な学びを提供できます。

野田 稔 様
明治大学グローバル・ビジネス研究科 (MBA) 研究科長 専任教授



DXをするとういう事が出来るようになるのか、
想像して示せる人が必要

学生が集まる時代は終わり、学校は独自ビジョンを示す必要があります。教育経営学の意義が高まる中、DX推進には「何ができるか」を示す人材が不可欠で、現場に戻った教員がデジタルの可能性を示すことを期待します。

大森 昭夫 様
共愛学園前橋国際大学・共愛学園前橋国際大学短期大学学長



教育も、もっと混ざる方向に行く

人口減少に伴い、学校には教育以外の用途の提示と多様な学びの場の創出が求められます。特殊学校をはじめとする様々なアプローチをWellBeing指標を起点として総合的に評価し、まちづくりや子育て環境を含めた研究の深化を期待します。

村上 敬亮 様
元デジタル庁統括官国民向けサービスグループ長



「社会人が学ぶ」ことに特化した学習環境。

フルオンライン

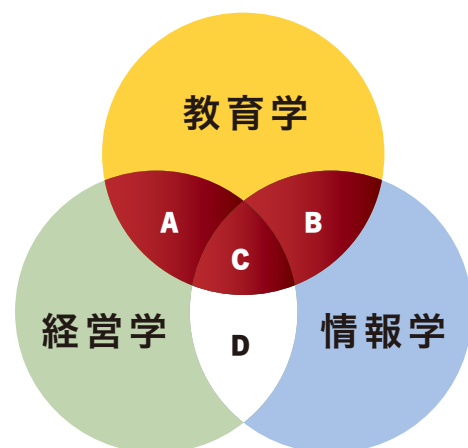
◎教育・研究領域

「教育テック学」は、「教育学」「経営学」「情報学」の3つの学問が交差した部分にあたる学際領域(右図のABCD領域)の“総称”。現代の教育界における課題解決には、経営学や情報学(ICT)の知見が必須です。そのため本学では、右図のABC領域を教育・カリキュラムの範囲とし、教育学に対して、情報学・経営学を実践的に「活用・応用」する教育を実施します。

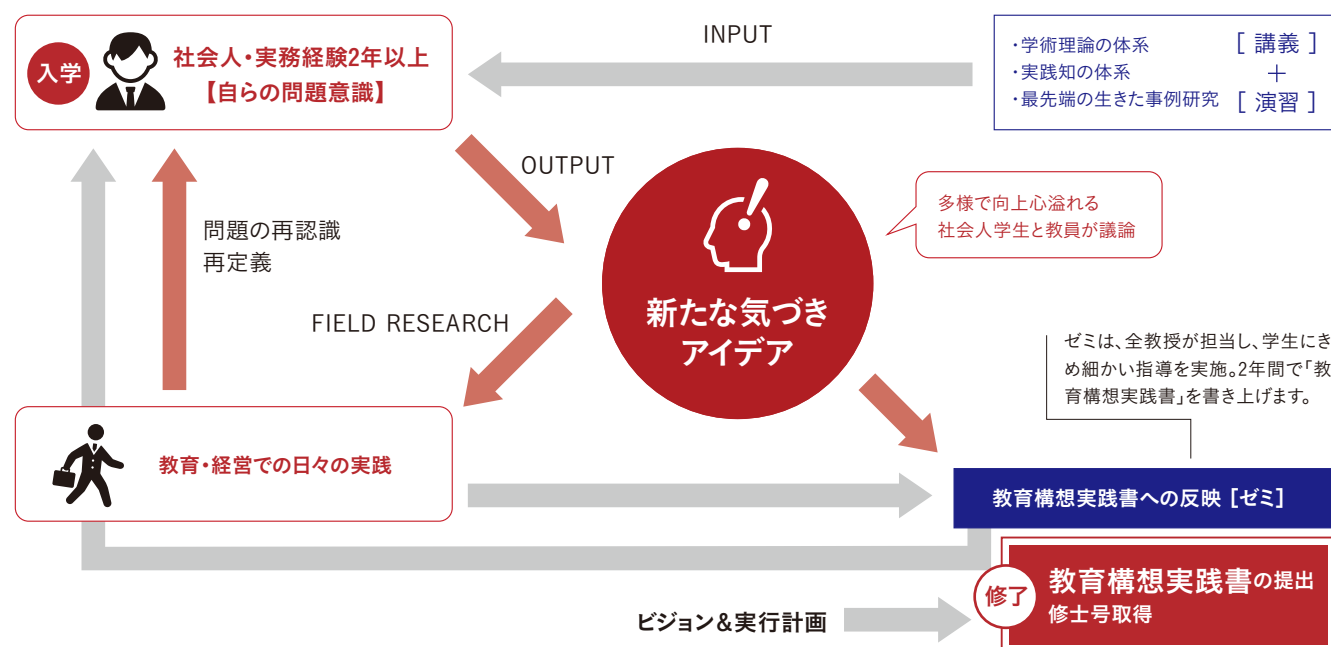
●教育テック大学院大学の教育対象領域 [A + B + C]

●教育テック学の研究領域 [A + B + C + D]

●教育テック大学院大学の教育以外の研究領域 [D]



◎働きながら学ぶことで得られる効果



◎カリキュラム概要【教育情報・経営リーダーシップ研究科】

	教育経営コース	両コース共通	教育情報コース
必修科目	研究指導科目群 <ul style="list-style-type: none"> ●教育構想研究(I) ●教育構想研究(II) 	基礎科目群 <ul style="list-style-type: none"> ●教育テック総論 ●教育データ・アナリティクス論(I) ●教育データ・アナリティクス論(II) ●教育デジタルエコシステム概論 ●教育テック事例研究(I) ●教育テック事例研究(II) 研究指導科目群 <ul style="list-style-type: none"> ●教育構想演習(I) ●教育構想演習(II) 	研究指導科目群 <ul style="list-style-type: none"> ●教育構想研究(I) ●教育構想研究(II)
	コース必修:4単位	必修:15単位	コース必修:4単位
選択科目	展開科目群 <ul style="list-style-type: none"> ●教育政策論 ●ソーシャル・アントレプレナーシップ論 ●教育マーケティング・広報ブランディング ●教育機関と経営戦略論 ●教育マネジメント論 ●教育人材マネジメント論 ●教育ファイナンス論 ●教育経済学 	選択科目群 <ul style="list-style-type: none"> ●教育学特殊講義 ●教育国際論 ●教育効果論 ●教育国際交流演習 ●持続可能な開発のための教育 ●教育デジタルエコシステム演習 ●教育テックの倫理的・法的・社会的な課題(ELSI) 	展開科目群 <ul style="list-style-type: none"> ●教育テックのためのICT基礎 ●プログラミング特論 ●カリキュラム・マネジメント ●ICTを活用した就学前教育 ●ICTを活用した初等中等教育 ●ICTを活用した高等教育 ●ICTを活用した特別支援教育 ●XRの教育応用
	コース要件:4単位	修了要件:4単位	コース要件:4単位
	小計:コース毎8単位	小計:19単位	小計:コース毎8単位
	小計:選択科目より3単位以上		
	修了要件:合計 30単位以上		

◎特長

フルオンラインの大学院だから、

- 1 多忙な社会人でも受講可能。ビデオ補講もOK。
※AI・ICTや先進的な授業方法を取り入れた効率的な学び。
- 2 働きながら学べる。平日夜間と土曜日中開講。
※平日夜1～2日、土曜日中の受講で修了に必要な30単位の取得が可能。
- 3 仕事・家庭と、大学を両立できる。
※リアルタイムに受講できない場合でも、オンデマンド(ビデオ録画)の視聴で学習可能。



◎次代の教育経営者・教育改革者を目指す2つのコース／学位

教育経営コース

— 教育のMBA —
教育経営学修士
MEBA (Master of Educational Business Administration)

教育界の課題をグローバルな視点で科学的に分析し、特に経営学の知識・スキルで未来の教育機関の経営を変革できる人材、そして教育テックによる社会変革に参画・実現できる人材を養成します。

〈学びの内容〉
・教育機関の経営
・自治体の教育政策
・国の教育政策

〈修了後の活躍のイメージ〉
・学校・教育機関、行政・教育委員会(教育庁)、企業・人材育成のマネジメント職

教育情報コース

— 教育のIT修士 —
教育情報学修士
MEIT (Master of Educational Information Technology)

グローバルな視点で教育界の課題を分析し、特に情報学の知識・スキルから、デジタル教育環境の実現やデジタル人材の養成、さらに教育テックによる社会変革に参画・実現できる人材を養成します。

〈学びの内容〉
・ICTの教育利用の基礎
・各教育段階でのICT活用
・未来の教育応用

〈修了後の活躍のイメージ〉
・CIO(Chief Information Officer)
・AI・ICTを活用した教育を提供する教職員
・教育DX推進者

履修モデル

◎仕事・プライベート・学業の両立ができる設計

01



フルオンライン

通学時間ゼロ、ネットが繋がれば
どこからでも出席可能。

02



**オンデマンド
(録画ビデオ視聴)**

全ての授業が録画されており、リアル
タイムに出席できない場合も受講可能。

03



**多忙な社会人に配慮した
カリキュラムとサポート**

教員・職員が一丸となって
院生の学びを支えています。

◎実際の授業時間の例

本学の授業は、隔週で1講あたり3時間です。おおよその毎週の授業時間イメージは下記の通りです。

※実際には、各個人が選択する科目数・単位数によって変動します。

Aさんの場合 (1年次20単位、2年次10単位取得)

1年 前期	平日夜1～2日(3～6時間) + 土曜(3時間～6時間) 10単位取得
1年 後期	平日夜1～2日(3～6時間) + 土曜(3時間～6時間) 10単位取得
2年 前期	平日夜1日(3時間) + 土曜(3時間) 8単位取得
2年 後期	土曜(3時間) 2単位取得 (ゼミのみ隔週、教育構想実践書の執筆に専念)

Bさんの場合 (1年次16単位、2年次14単位取得)

1年 前期	平日夜1日(3時間) + 土曜(3時間) 8単位取得
1年 後期	平日夜1日(3時間) + 土曜(3時間) 8単位取得
2年 前期	平日夜1日(3時間) + 土曜(3時間) 8単位取得
2年 後期	平日夜0～1日(0～3時間) + 土曜(3時間) 6単位取得

※開講時間 ◆平日 夜:18:30-21:40 ◆土曜 日中:9:00-17:50

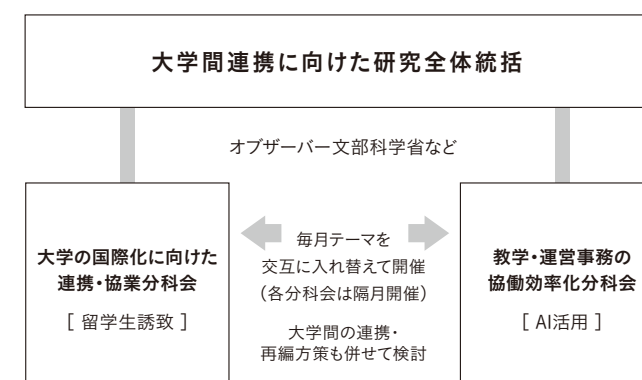
※ゼミは、選択するゼミによって曜日が変わります。※土曜日の科目履修を減らし、平日夜にできるだけ受講することも可能です。

授業外の学びも充実

教育・経営テック共創会議 Team Swimmy への参加

2025年度のテーマ「生成AI・国際化」

学校間連携・再編による学校機能強化に向けたディスカッションや、国内外の大学連携・再編事例の共有・ディスカッション、補助金等も活用したトライアル活動の企画・進捗報告、文部科学省との連携・政策提言を目標に研究活動を行っています。



英国・パブリックスクール ゴードンストウン・日本校との連携

学校法人OCC(本学の運営法人)が、英国スコットランドに所在する名門パブリック・スクール「ゴードンストウン校」の姉妹校「ゴードンストウン・スクール日本校(仮称)」を和歌山市内に開設します。同校は、チャールズ三世国王陛下の母校としても知られています。本学の院生が開校準備にあたるなど、実践を通じた学びの機会が得られます。



©Gordonstoun International Ltd.

◎オンライン&オフラインで学び、活発な交流機会を

授業・ディスカッション・交流をフルオンラインで ～デジタルエコシステム～

学生同士のディスカッションをフルオンラインで実施できるほか、オンラインデータベースでの学術資料の閲覧やオンデマンド学習も可能。



メタバース上での授業外交流

メタバース空間で学生同士、教職員との会話ができます。授業外でも交流を行い、卒業後にも活きる仲間づくりを。

大阪・関西万博パビリオンでの 実習機会を提供



大阪・関西万博のパビリオン「ジュニアSDGsキャンプ」でSDGs教育を実践し、その成果を世界に発信しました。(課外活動)

対面交流の機会： 合宿・フォーラムなど



5月にはチームビルディング合宿(1泊2日)、8月と2月には教育テックフォーラムを開催します。その他ゼミ合宿を実施する場合があります。

教員一覧

教育学、経営学、経済学、最新ICT・AI分野まで。

各分野での豊富な実績と経験を持つ教員たちが集結。

知の結集によって次代の教育を創る人材を養成していきます。

 <div>教育改革・学校改革の実践 理事長・ 特任教授 根岸 正州 〈担当科目〉 教育テック総論、教育機関と 経営戦略論</div>	 <div>情報科学、VR/AR/MR、 教育へのICT活用 学長・ 教授 竹村 治雄 〈担当科目〉 教育テック総論、教育テックのための ICT基礎、XRの教育応用、教育構想演 習(Ⅰ)(Ⅱ)、教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)</div>	 <div>CG、VRプログラミング 教授 河崎 雷太 〈担当科目〉 教育テック総論、教育テックのための ICT基礎、プログラミング特論、教育構 想演習(Ⅰ)(Ⅱ)、教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)</div>	 <div>特別支援教育のテクノロジー活用 客員教授 金森 克浩 〈担当科目〉 ICTを活用した特別支援教育</div>	 <div>財務・会計、私学経営 特任教授 植草 茂樹 〈担当科目〉 教育ファイナンス論</div>	 <div>教育経済学 客員教授 北條 雅一 〈担当科目〉 教育経済学</div>
 <div>情報学・教育工学・ 教育デジタル・エコシステム 教授 山田 恒夫 (2026年度より) 〈担当科目〉 教育テック総論、教育デジタルエコシ テム概論、教育デジタルエコシステム演 習、教育テックのためのICT基礎、教育構 想演習(Ⅰ)(Ⅱ)、教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)</div>	 <div>保育テックの研究・実践 教授 大和田 茂 〈担当科目〉 教育テック総論、教育構想演習(Ⅰ) (Ⅱ)、教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)</div>	 <div>情報教育・教育経営、 元教育CIO補佐官 教授 松田 孝 〈担当科目〉 教育テック総論、ICTを活用した初等 中等教育、教育構想演習(Ⅰ)(Ⅱ)、教 育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)</div>	 <div>元グーグル・クラウド・ジャパン合同会社 執行役員 AI事業本部 本部長 特任教授 橋口 剛 〈専門領域〉 実業務へのAI導入・活用戦略</div>	 <div>IT・製造業(自動車)におけるデジタル イノベーションとソフトウェア産業に おける経営戦略 特任教授 石黒 裕太郎 〈担当科目〉 サーティフィケートプログラム 製造業(特に自動車産業)におけるデ ジタル化・経営変革に関して指導</div>	 <div>DX・ビジネスイノベーション 特任教授 増田 有孝 〈専門領域〉 デジタルトランスフォーメーション戦 略・デジタルをデコにしたビジネスイ ノベーション</div>
 <div>経営学者・実務家、 組織・広報・財務論 教授 柴山 慎一 〈担当科目〉 教育テック総論、教育マーケティング・ 広報ブランディング・教育構想演習 (Ⅰ)(Ⅱ)、教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)</div>	 <div>理論経済学、マクロ経済学、 環境経済学 教授 秋田 次郎 〈担当科目〉 教育テック総論、教育データ・アナリ ティクス論(Ⅰ)(Ⅱ)、教育構想演習(Ⅰ) (Ⅱ)、教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)</div>	 <div>公教育経営学・教育行政学・ 学校経営学 教授 木岡 一明 〈担当科目〉 教育テック総論、教育政策論、教育機関 と経営戦略論、教育マネジメント論、教育 構想演習(Ⅰ)(Ⅱ)、教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)</div>	 <div>教育行政・教育データ活用・教育DX 特任教授 戸ヶ崎 勤 〈専門領域〉 中央教育審議会正委員</div>	 <div>経営学・経営戦略論 特任教授 柳 在相 〈専門領域〉 組織の持続的成長とイノベーション</div>	 <div>デジタルトランスフォーメーション UI/UXデザイン グローバルプロジェクトマネジメント 特任教授 飯塚 裕貴 〈専門領域〉 教育事業者対象のシステム開発、デー タ基盤の刷新やデジタルサービスのグ ローバル展開</div>
 <div>学校改善、働き方改革、 リーダーシップ、教育政策 教授 妹尾 昌俊 〈担当科目〉 教育テック総論、教育マネジメント論、 教育人材マネジメント論、教育構想演 習(Ⅰ)(Ⅱ)、教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)</div>	 <div>幼児教育・保育研究者・実務家 教授 山本 淳子 〈担当科目〉 教育テック総論、教育構想演習(Ⅰ) (Ⅱ)、教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)</div>	 <div>SDGs教育、社会起業研究、 事業構想学 教授 大和田 順子 〈担当科目〉 教育テック総論、持続可能な開発のた めの教育、ソーシャル・アントレプレ ナーシップ論、教育構想演習(Ⅰ)(Ⅱ)、 教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)</div>	 <div>建築学・都市計画学・環境創成学 特任教授 風見 正三 〈専門領域〉 都市計画、地域経営、環境政策、コ ミュニティビジネス、コミュニティデザ イン</div>	 <div>事業開発、プロジェクトマネジメント 特任教授 岩崎 マサ 〈専門領域〉 グローバルリーダーシップトレーニング グ、新規事業開発、米国進出支援</div>	 <div>教育経営・テック実務家 特任講師 原山 青士 〈担当科目〉 教育テック事例研究(Ⅰ)(Ⅱ)</div>
 <div>教育学・教育行政学 教授 藤本 典裕 〈担当科目〉 教育テック総論、教育学特殊講義、教 育構想演習(Ⅰ)(Ⅱ)、教育構想研究 (Ⅰ)(Ⅱ)</div>	 <div>文部科学行政、教育政策 特任教授 合田 隆史 〈担当科目〉 教育効果論、教育マネジメント論、教 育ファイナンス論</div>	 <div>環境経済学、応用経済学 客員教授 日引 聡 〈担当科目〉 教育データ・アナリティクス論(Ⅰ)(Ⅱ)</div>	 <div>環境経済学、応用経済学 客員教授 日引 聡 〈担当科目〉 教育データ・アナリティクス論(Ⅰ)(Ⅱ)</div>	 <div>教育経営・テック実務家 事務局長・ 特任講師 織田 竜輔 〈担当科目〉 教育テック事例研究(Ⅰ)(Ⅱ)</div>	
 <div>カリキュラム・マネジメント 客員教授 田村 知子 〈担当科目〉 カリキュラム・マネジメント</div>	 <div>教育心理学・幼児心理学・ 教育国際交流 客員教授 戸田 有一 〈担当科目〉 教育国際交流演習</div>	 <div>教育学・情報教育・幼児教育 客員教授 堀田 博史 〈担当科目〉 ICTを活用した就学前教育</div>			
 <div>教育学・大学教育学・ ELSI(倫理的・法的・社会的課題) 客員教授 村上 正行 〈担当科目〉 ICTを活用した高等教育</div>	 <div>大学IR、教育効果論 客員教授 山田 礼子 〈担当科目〉 教育効果論</div>	 <div>医学の教育への応用 特任教授 林 正幸 〈担当科目〉 教育テックの倫理的・法的・社会的な 課題(ELSI)</div>			

この他に、各界で経験豊富な教員陣が在籍しています。 ※2025年11月現在

社会へのコミット

50以上の保育園で実装 保育園向けソリューションを開発

AIカメラ記録データを利用して保育者・子どもの人数や行動量を可視化。保育の質評価を実現するシステムを開発し、すでに50以上の保育園で実装されています。



〈映像解析〉

大阪府・教育委員会との連携協定 リーディングGIGAハイスクール事業共同研究・教員研修

大阪府下の府立高校生約11万人・モデル校30校のデータ分析・共同研究・教員研修を実施。ICTを活用した効果的な教育方法の確立、エビデンスに基づく効果検証・改善を目指しています。



第Ⅰ期生紹介

幼保小中高大・民間教育・生涯教育・教育産業・IT企業などから多様な教育関係者が集結。



01 幼稚園・小学校・中学校

室田 ひろみさん
北海道中頓別教育委員会 指導主事

北海道の町教育委員会で全国に前例のない幼小中一貫義務教育学校の設立に挑戦中。地方教育の課題解決に向け、教育DXと経営を体系的に学ぶため大学院へ進学。所属する教育委員会で新しい学校づくりを推進しながら、オンライン学習を活用し、最先端の知見と実務を結び付けながら子どもたちの「小さな町の大きな夢」を形にしている。



03 小学校

館 雅之さん
公立小学校 校長

公立小学校の校長として学校経営に携わる中、子どもが主体的に学ぶ環境を実現するため大学院へ進学。教師が意思決定に参加し役割を選べる組織づくりを研究し、現場と理論を往復しながら「選ぶ・決める文化」を学校に根づかせることを目指し、オンライン学習を活用して仕事と学びを両立している。



05 塾・民間教育

丸谷 昂明さん
株式会社学研エデュケーション
管理部 システム管理室長

現在所属する企業にて教室事業のDXを推進する中、従来型の民間教育サービスが抱える課題に直面し大学院へ進学。公教育と民間教育の垣根を越えた新しい学びの仕組みを研究し、経営学・情報学・教育学を横断する学びとオンライン授業を活用しながら、仕事と学びを両立している。



02 大学

清水 葵さん
学校法人新潟青陵学園 新潟青陵大学
学務課 課長補佐

所属する学校法人で大学業務に携わる中、断片的な知識に限界を感じ大学院へ進学。大学合併時代に適応する教職員組織の開発をテーマに研究し、経営や教育の理論を体系的に学びながら、フルオンライン授業を活用して仕事と学びを両立。地方大学の未来に向け、学びを実務へ還元することを目指している。



04 幼稚園・保育園

尾崎 萌子さん
学校法人OCC 聖愛幼稚園 幼稚園教諭

保育士不足に悩みリクルーティングに取り組む中で大学院進学を決意。現役保育士として働きながら、保育の質向上を目指し研究を進めている。現在は、週3回のオンライン授業を基本に、オンデマンドで補完しながら学びを継続。企業との連携による新しい保育の可能性にも着目し、現場と理論を往復しながら探究を深めている。



06 産業・IT

小林 由昭さん
株式会社内田洋行 執行役員・
高等教育事業部 事業部

教育現場でICT導入を支援してきた経験から、大学改革に伴う「教育の質」と「大学経営」の両立課題に直面し大学院へ進学。所属する内田洋行で高等教育事業を担いながら、EdTech技術標準を活用した教育デジタルエコシステムの社会実装を研究。オンライン学習を駆使し、仕事と学びを両立している。



07 留学生

アナシタシア アマンドさん
(Anastasia Amanda)
バリュー・スタッフ

インドネシアでプログラミング教室を経営し来日して働きながら学んでいる。入学式では「大学院生として、教育テック大学院大学での学びを通じて、インドネシアをはじめ、教育革命を起こし、優れた教育が受けられる学校を作りたいという私の夢を叶えます。そのため、大学院での学びと人的ネットワークを最大限に活かし、努力を惜しまないことを誓います。」と宣誓をした。



08 小学校・中学校

中村 征司さん
国立大学法人奈良国立大学機構
奈良女子大学附属小学校

約20年間の教員生活を経て知識を広げたいと考え、教職員大学など実務の延長ではなく別の角度から学校教育について学び直したいと思っていました。開学案内を見た瞬間『ここだ』と直感。教育・情報・経営を横断して働きながら学べる環境は唯一無二です。すでに業務にも活かし、同僚と知見を共有しながら教育実践を進めています。

教育テック大学院大学に決めた理由

『時間、空間等含めた学びの選択ができることが決め手に』 (1期生：館雅之さん)

個別最適などということを学校現場ではよく言いますが、大人の学びこそまさにこれであり、時間、空間等含めた学びの選択ができるのが教育テック大学院大学でした。また、適度なリアル交流のイベント、授業外交流も決め手となりました。

教育の未来を創る多様な人が集う

